

麗澤大学と千葉県立柏陵高等学校が高大連携協定を締結

高校生が大学のゼミナールに参加する 「つなぐ学び体験プログラム 2022」始動！

麗澤大学(千葉県柏市/学長：徳永澄憲)と、千葉県立柏陵高等学校(千葉県柏市/校長：代崎晶子)は、高大連携に関する協定を締結しました。

この高大連携協定は、相互の教育活動の連携と交流を深めることにより、高校生および大学生の成長や資質向上、教育内容の充実や教育活動を活性化することを目的に締結されました。

【高大連携協定のポイント】

「つなぐ学び体験プログラム 2022」の始動

グローバルな問題と日常世界をつなぎ「自分ごと化」することで新しい発見を得ることを学びの特色として掲げている本学国際学部が、柏陵高校の生徒と本学の学生を「つなぐ」2つのプログラムを始動。高校生に大学での主体的な学びを身をもって体験してもらうことで、新たな出会いと知の創出を目指します。大学生にとっても高校生の視点が加わることで新たなアイデアが育まれるきっかけとなります。



プログラムⅠ 自主企画ゼミナールへ参加 「日本のこれからを考える」

本学には「自主企画ゼミナール」という学生が学びたいテーマを決め、学習計画を行い、実施する小規模大学ならではのゼミナール制度があります。今回、高校生は「世界の「今」を見る」というテーマの自主企画ゼミナールに参加し、「日本のこれから」をテーマに共に議論を深めます。

プログラムⅡ 多文化防災プロジェクト みんなで学ぼう！ぼうさいワークショップ(予定)

外国人住民の方にとって、防災情報を得ることは実は難しい問題です。柏市に住む外国人の方にとってもそれは例外ではありません。多文化共生をテーマに、防災の視点から、言語や文化の違いから起こる誤解や行き違いについて、留学生も交え解決方法を考えます。今回をきっかけとして、将来的には地域も「つなぐ」プロジェクトに発展することが期待されます。

■千葉県立柏陵高等学校 校長 代崎 晶子 コメント

生徒の成長と夢の実現には、高校3年間の学びを学校の中だけでなく、新たな体験や校外での生徒自身の学びが加わるのが大切です。教科の枠を超え、成績にも関係ない、だけど「考えてみよう」「自分で学んでみよう」とする第一歩、きっかけはこのようなプログラムから育まれると思っています。麗澤大学と新しいプログラムという形でこうして連携できますことは、柏陵高校の生徒、教職員にとりまして大変嬉しいことであります。

■麗澤大学 学長 徳永 澄憲 コメント

昨今の世界情勢を目のあたりにして、グローバルな視点でローカルに考える「グローカル力」が必要であると思っています。この高大連携協定や柏陵高等学校の生徒と本学の学生が共同して学ぶ「つなぐ学び体験プログラム 2022」を通じて、グローカル人材を共に育成して参ります。また本協定を通じて、本学と柏陵高等学校との教育連携をさらに発展させ、末永く良好な関係を築かせていただきたいと思います。

【麗澤大学について】 <https://www.reitaku-u.ac.jp/>

麗澤大学は昭和10年、創立者の廣池千九郎(法学博士)が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス(千葉県柏市光ヶ丘)に開塾したことから始まります。「知徳一体」という教育理念のもと、心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指し、教育改革を進めています。「THE 世界大学ランキング日本版」の国際性分野では2017年から連続して千葉県1位の評価を受けています。

【本件に関するお問合せ先】 廣池学園広報部広報課 担当：阿部(あべ)

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1 Email: pr@reitaku-u.ac.jp TEL: 04-7173-3136 FAX: 04-7173-3585 大学公式サイト:

<https://www.reitaku-u.ac.jp/>